

授 業 科 目	装具学Ⅱ（下肢装具）		
教 育 内 容	専門分野	基礎義肢装具学	
担 当 教 員	星野元訓、中村喜彦、小濱友恵		
学 年	1	単 位 数	3
開 講 時 期	後期	時 間 数	講義 30 時間 演習 90 時間

■ 授業概要

実習では、シューホーン型と両側支柱付き短下肢装具を製作する。短下肢装具の使用目的、製作方法、適合に対する知識と必要な基本的技術を習得する。立位・歩行時の短下肢装具装着による力学的側面およびアライメントについて教授する。下肢装具の機能、種類と剛性、パーツの名称等について講義を行う。

■ 到達目標

- 1) シューホーン型、両側支柱付き短下肢装具の採型、製作方法、適合について理解し、実践できる。不適合の原因を理解し、対処できる。
- 2) 上記以外の短下肢装具（継手付きプラスチック AFO を除く）の種類と特徴を説明できる
- 3) 正常歩行の時間的因子、距離的因子、関節角度等について説明できる
- 4) 歩行における短下肢装具の機能と効果について説明できる
- 5) 短下肢装具の構造と剛性について説明できる

■ 授業内容

第 1-5 回	【講義】「短下肢装具の適合」「AFO の力学的考え方とプラスチック AFO の種類」（第 1-3 回） 【実習】シューホーン型採型・陽性モデル製作
第 6-10 回	【実習】陽性モデル修正
第 11-15 回	【実習】プラスチック成型、トリミング、仮合せ 【講義】「ヒトの立位と歩行 1」（第 11,12 回）
第 16-20 回	【実習】仮合せ後の修正・調整・仕上げ
第 21-25 回	【講義】「下垂足と尖足」（第 21,22 回） 【実習】仕上げ・評価
第 26-30 回	【実習】両側支柱付き短下肢装具 採寸・トレース、装具設計、材料準備 【講義】「足継手の種類と足関節軸」（第 29,30 回）
第 31-35 回	【実習】あぶみ曲げ加工、芯だし、支柱曲げ加工 【講義】「痙性麻痺と弛緩性麻痺」（第 34,35 回）
第 36-40 回	【実習】半月曲げ加工、仮合せ準備、仮合せ
第 41-45 回	【実習】仮合せ後の修正・調整 【講義】「麻痺歩行と装具歩行の基礎」（第 44,45 回）
第 46-50 回	【実習】仮合せ後の修正・調整
第 51-55 回	【実習】仕上げ・評価
第 56-60 回	【実習】装具歩行の体験・装具の機能と歩行 【講義】「装具の矯正力とまとめ」（第 59,60 回）

■ 評価方法

「小テスト」、「製作実習」、「期末試験」の各項目での評価を総合して行う。

小テスト：5%、期末試験：45%、製作実習：40%、平常点10%

■ 教科書

装具学第4版、義肢装具ハンドブック

■ 留意事項

小テストを随時行う。第60回の講義終了後にノートを提出すること。

<講師の実務経験>

中村喜彦：義肢装具製作施設にて義肢装具士として臨床業務に5年間従事。本学院義肢装具学科の専任教員として14年間勤務。

星野元訓：本学院義肢装具学科の専任教員として20年間勤務。

小濱友恵：本学院義肢装具学科の専任教員として3年間勤務。